## 2月11日(日)

## —— 潰瘍学会会場 (会議棟A 1F 「A1 |) ——

## 8:00~8:50 モーニングセミナー2

#### 潰瘍性大腸炎における TNF の役割と抗 TNF α阻害剤の意義を考える

司会:本谷 聡(JA北海道厚生連札幌厚生病院IBDセンター)

共催:ヤンセンファーマ株式会社

#### 血栓症リスクから考える潰瘍性大腸炎と抗TNF-α抗体

演者:安藤 勝祥(旭川医科大学内科学講座消化器内科学分野)

#### 潰瘍性大腸炎の治療戦術におけるTNFα阻害の意義

演者: 櫻庭 裕丈(弘前大学大学院医学研究科消化器血液内科学講座)

### 8:55~10:15 **ワークショップ**

#### 消化管粘膜傷害および修復のメカニズム

司会:渡邉 俊雄(大阪公立大学大学院医学研究科先端予防医療学)

内山 和彦(京都府立医科大学消化器内科)

# WS-1 早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術後ボノプラザン3週間内服終了時における内視鏡所見と術後8週間における内視鏡所見の変化

1) 国際医療福祉大学病院消化器内科、2) 国際医療福祉大学病院外科 須藤 大輔1)、吉田 昌2)、佐藤 貴一1)、大竹 孝明1)、大澤 陽介1)、大平 寛典2)、高後 裕1)、 鈴木 裕2)

## WS-2 NHPH感染による壁細胞内の特異なxenophagyおよびapoptosisの出現

1) 東海大学医学部、2) 東海大学医学部生体防御学領域、3) 東海大学消化器内科中村 正彦1)、津川 仁2)、鈴木 秀和3)

## WS-3 アセトアミノフェンによるNSAIDs起因性消化管傷害抑制メカニズムの検討~セロトニン受容体制御による傷害抑制可能性検証~

1) ライオン株式会社研究開発本部ウェルビーイング研究所、

2) ライオン株式会社研究開発本部先進解析科学研究所

関 桂子1)、木村 龍人1)、小林 政義1)、湯山 可奈子2)、會田 悠人2)、増田 遼馬2)、佐藤 惇志2)

## WS-4 好酸球性小腸炎は心理的ストレスによりCRH-mast cell axisを介して増悪する

大阪公立大学大学院医学研究科先端予防医療学 金森 厚志

## WS-5 Partially hydrolyzed guar gumはSuccinateを介して大腸粘液産生を促進 させる

- 1) 京都府立医科大学消化器内科、2) 市立福知山市民病院消化器内科、
- 3) 京都府立医科大学生体免疫栄養学講座

梶原 真理子 $^{1,2)}$ 、内山 和彦 $^{1)}$ 、辻 俊史 $^{2)}$ 、高木 智久 $^{1)}$ 、阪上 順 $^{-2)}$ 、内藤 裕 $^{-3)}$ 

#### WS-6 傷害された大腸粘膜の治癒における大腸上皮細胞BLT1の役割

<sup>1)</sup> 富山大学和漢医薬学総合研究所、<sup>2)</sup> ミシガン大学医学部病理学科 林 周作<sup>1,2)</sup>、Miguel Quiros<sup>2)</sup>、奥 牧人<sup>1)</sup>、Charles Parkos<sup>2)</sup>、Asma Nusrat<sup>2)</sup>

#### WS-7 急性出血性直腸潰瘍の臨床的特徴・再出血リスク因子の検討

東海大学医学部消化器内科学

上田 孝、金子 元基、佐野 正弥、佐藤 博彦、寺邑 英里香、門馬 牧子、藤澤 美亜、出口 隆造、松嶋 成志、鈴木 秀和

## 10:25~10:45 第 50 回 (2023 年) 日本潰瘍学会学会賞受賞講演

NSAIDs 起因性小腸傷害の病態について - 好中球細胞外トラップの関与をふくめて -

司会:安藤朗(滋賀医科大学医学部消化器内科)

演者: 灘谷 祐二 (大阪公立大学大学院医学研究科先端予防医療学)

### 10:50~12:00 第51回(2024年)日本潰瘍学会学術奨励賞候補セッション

司会:藤原 靖弘(大阪公立大学消化器内科学) 永原 章仁(順天堂大学消化器内科)

#### ES-1 ウロリチンAは結腸粘液産生を増加させ、腸管バリア機能を増強する

1) 京都府立医科大学大学院医学研究科消化器内科学、2) 明石市立市民病院·消化器内科 安田 剛士<sup>1,2)</sup>、高木 智久<sup>1)</sup>、内山 和彦<sup>1)</sup>、内藤 裕二<sup>1)</sup>

# ES-2 Transient receptor potential melastatin 2 (TRPM2) のTh1/Th17 誘導を介したTNBS誘起マウス大腸炎の病態における寄与

- 1) 京都薬科大学薬学部大学院薬物治療学分野、2) 同志社女子大学薬学部病態生理学研究室、3) 京都大学大学院工学研究科分子生物化学分野
- 中本 智大<sup>1)</sup>、松本 健次郎<sup>1,2)</sup>、安田 浩之<sup>1)</sup>、森 泰生<sup>3)</sup>、加藤 伸一<sup>1)</sup>

### ES-3 Ghrelinは中枢神経系に作用して腸管透過性亢進を改善し敗血症死を阻止する

- 1) 旭川医科大学内科学講座血液内科学分野、2) 旭川医科大学総合診療部、
- 3) 旭川医科大学教育センター、4) 旭川医科大学内科学講座消化器内科学分野

五十嵐  $将^{1)}$ 、野津  $\overline{g}^{2,3)}$ 、石王 応知 $^{2)}$ 、船山 拓也 $^{1)}$ 、鷲見 千紘 $^{1)}$ 、齋藤 豪志 $^{1)}$ 、山本 昌代 $^{1)}$ 、畑山 真 $\overline{g}^{1)}$ 、土岐 康通 $^{1)}$ 、進藤 基博 $^{1)}$ 、奥村 利勝 $^{1,4)}$ 

### ES-4 過敏性腸症候群併発の潰瘍性大腸炎に対する抗菌薬併用腸内細菌叢移植療法の 治療効果の検討

 $^{1)}$  順天堂大学医学部消化器内科、 $^{2)}$  順天堂大学細菌叢再生学講座 丸山 貴史 $^{1)}$ 、石川 大 $^{1,2)}$ 、高馬 將郎 $^{1)}$ 、野村 慧 $^{1)}$ 、野村 収 $^{1)}$ 、澁谷 智義 $^{1)}$ 、北條 麻理子 $^{1)}$ 、永原 章仁 $^{1,2)}$ 

#### ES-5 急性出血性直腸潰瘍の臨床的特徴・再出血リスク因子の検討

東海大学医学部消化器内科学

上田 孝、金子 元基、佐野 正弥、佐藤 博彦、寺邑 英里香、門馬 牧子、藤澤 美亜、出口 隆造、松嶋 成志、鈴木 秀和

#### 12:10~13:00 ランチョンセミナー2

#### 潰瘍学としてのサイトカインを中心とした炎症性腸疾患研究

司会:内藤裕二(京都府立医科大学大学院医学研究科生体免疫栄養学講座)

演者:安藤 朗(滋賀医科大学医学部消化器内科)

共催:ミヤリサン製薬株式会社

## 13:10~14:50 シンポジウム 2 ストレス潰瘍 2024

司会:小池智幸(東北大学病院消化器内科) 新﨑信一郎(兵庫医科大学医学部消化器内科学講座)

#### 基調講演 本邦の特発性潰瘍調査結果から見えてきたもの

摂津診療所 竹内 利寿

## S2-1 東日本大震災に関連した福島県内の胃・十二指腸の臨床的特徴の検証~前年と翌年との比較~

 $^{1)}$  福島県立医科大学附属病院内視鏡診療部、 $^{2)}$  福島県立医科大学医学部消化器内科学講座 引地 拓人 $^{1)}$ 、中村 純 $^{1)}$ 、橋本 陽 $^{1,2)}$ 、加藤 恒孝 $^{1,2)}$ 、柳田 拓実 $^{1,2)}$ 、高木 忠之 $^{2)}$ 、鈴木 玲 $^{2)}$ 、杉本 充 $^{2)}$ 、佐藤 雄紀 $^{2)}$ 、入江 大樹 $^{2)}$ 、大平 弘正 $^{2)}$ 

#### S2-2 ストレスと胃十二指腸潰瘍:東日本大震災と10年後のQOLを加味した検討

- 1) 東北大学大学院医学系研究科消化器病態学分野、
- 2) 自治医科大学医学教育センター医療人キャリア教育開発部門、
- 3) 東北大学病院総合地域医療教育支援部、4) 石巻赤十字病院消化器内科 菅野 武<sup>1,2)</sup>、只野 恭教<sup>3)</sup>、前嶋 隆平<sup>4)</sup>、赤羽 武弘<sup>4)</sup>、小池 智幸<sup>1)</sup>、石井 正<sup>3)</sup>

#### S2-3 ストレス潰瘍の観点から行った特発性潰瘍の検討

秋田大学消化器内科 福田 翔

#### S2-4 当院で身体的ストレスに関連した潰瘍に対してピュアスタットを使用した4例

- 1) 自治医科大学附属病院内科学講座消化器内科部門、
- 2) 自治医科大学医学教育センター医療人キャリア教育開発部門、
- 3) 東北大学大学院医学研究科消化器病態学分野

関口 裕美1)、竹澤 敬人1)、三浦 義正1)、菅野 武2.3)、大澤 博之1)、山本 博徳1)

#### S2-5 不眠状態と炎症性腸疾患増悪の因果関係を評価するための前向き観察研究

 $^{1)}$  東北大学大学院消化器病態学分野、 $^{2)}$  東北大学大学院精神神経学分野 大山 秀晃 $^{1)}$ 、諸井 林太郎 $^{1)}$ 、佐久間 第 $^{2)}$ 、永井 博 $^{1)}$ 、下山 雄丞 $^{1)}$ 、内藤 健夫 $^{1)}$ 、志賀 永嗣 $^{1)}$ 、角田 洋 $^{-1)}$ 、木内 喜孝 $^{1)}$ 、正宗 淳 $^{1)}$ 

#### S2-6 精神ストレスが中枢神経系ミトコンドリア異常を介して腸管炎症を増悪させるメ カニズムの検討

1) 兵庫医科大学医学部消化器内科学講座、2) 大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学新崎 信一郎1.2)、良原 丈夫2)、竹原 徹郎2)

#### 15:00~16:00 一般演題 3

#### 基礎

司会: 三輪 洋人 (川西市立総合医療センター消化器内科) 中島 典子 (日本大学医学部内科学系消化器肝臓内科学分野)

#### O3-1 抗酸化化合物スルフォラファンによる潰瘍性大腸炎の軽減効果に関する基礎的 臨床的検討

1) 筑波学園病院消化器内科、2) 大森敏秀胃腸科クリニック、3) 日立総合病院消化器内科、4) つくばセントラル病院消化器内科、5) 筑波大学医学医療系消化器内科 谷中 昭典1.3.5)、大森 敏秀2)、越智 正憲3.5)、鈴木 英雄4.5)

# O3-2 Transient receptor potential melastatin 2 (TRPM2) のTh1/Th17誘導を介したTNBS誘起マウス大腸炎の病態における寄与

1) 京都薬科大学薬学部大学院薬物治療学分野、2) 同志社女子大学薬学部病態生理学研究室、

③ 京都大学大学院工学研究科分子生物化学分野

中本 智大 $^{1)}$ 、松本 健次郎 $^{1,2)}$ 、安田 浩之 $^{1)}$ 、森 泰生 $^{3}$ 、加藤 伸 $^{-1)}$ 

#### O3-3 オーファンGタンパク質共役型受容体GPR35の大腸炎病態時の腸管バリアおよび 炎症免疫応答制御における役割

<sup>1)</sup> 京都薬科大学薬学部病態薬科学系薬物治療学分野、<sup>2)</sup> 同志社女子大学薬学部病態生化学 徳山 こうが<sup>1)</sup>、安田 浩之<sup>1)</sup>、松本 健次郎<sup>2)</sup>、加藤 伸一<sup>1)</sup>

#### O3-4 コハク酸がマウスの腸管に及ぼす影響についての検討

防衛医科大学校病院

田原 寛之、東山 正明、吉留 佑太、綾木 花奈、西村 弘之、冨岡 明、岡田 義清、栗原 千枝、高本 俊介、冨田 謙吾、穂苅 量太

#### O3-5 抗がん剤誘起小腸炎におけるグルタミン酸の有用性

<sup>1)</sup> 立命館大学大学院薬学研究科病態薬理学研究室、<sup>2)</sup> 京都薬科大学薬物治療学分野 上南 静佳<sup>1)</sup>、加藤 伸一<sup>2)</sup>、天ヶ瀬 紀久子<sup>1)</sup>

### 16:00~16:10 学会賞表彰式・閉会式